

平成 23 年 12 月 19 日

T 形ダクタイトイル鉄管接合要領書の訂正のお知らせ

日本ダクタイトイル鉄管協会

T 形ダクタイトイル鉄管接合要領書 (W04) の記述を部分訂正いたしますので、お手数ですが、お手元の資料のご修正をお願いいたします。

記

<訂正前>

(P. 2)

3) 管種および管厚

異形管：～呼び径 300 以上については、継ぎ輪は K 形用を使用し、～

(P. 19)

IV 継ぎ輪施工要領

呼び径 75～250 までは T 形用継ぎ輪（寸法は K 形と同一）を使用し、呼び径 300～2000 は K 形継ぎ輪を使用する。接合要領は K 形と同じである。

<修正後>

(P. 2)

3) 管種および管厚

異形管：～呼び径 300 以上については、継ぎ輪は T 形用を使用もしくは K 形継ぎ輪を複数個使用し、～

(P. 19)

IV 継ぎ輪施工要領

呼び径 75～250 までは K 形継ぎ輪を使用し、呼び径 300～2000 は T 形用継ぎ輪（K 形継ぎ輪より全長の長い K 形接合形式の継ぎ輪、日本ダクタイトイル鉄管協会規格 J D P A G 1027 「農業用水用ダクタイトイル鋳鉄管」に規定）を使用するか、K 形継ぎ輪を複数個使用する。接合要領は K 形と同じである。

以上